

地 域 再 生 計 画

1．地域再生計画の名称

新庄村「源流域清流」再生計画

2．地域再生計画の作成主体の名称

岡山県真庭郡新庄村

3．地域再生計画の区域

岡山県真庭郡新庄村の全域

4．地域再生計画の目標

新庄村は、岡山県の北西部に位置し、人口1,109人(平成17年4月1日現在)、面積67.1平方キロメートルで、村の中央部を岡山県三大河川旭川水系新庄川が流れている。

旭川の最上流域で、大山隠岐国立公園の毛無山を中心とする1000m級の美しい連山に囲まれており、西日本屈指のブナの原生林が本村に広がっている。

近年、余暇時間の増大や都市における身近な自然の減少及び環境に対する意識の向上等に伴い、人と環境との絆を強める自然とのふれあいへのニーズが高まっているなか、新庄村では、豊かな自然を生かし、景観保全を図りつつ、交流事業の展開、観光産業・農林業の振興により、「小さくても自主自立の村づくり」を目指している。

今年からは「新庄村応援団」として、以下に記す村づくりへの共感や心のふる里への思いを持つ人々の募集を行い、これらの人々との協働で、さらなる発展を目指している。

(1) 源流の里のシンボルであるブナの原生林や稀少動植物の保護

新庄村には、岡山県下の実に3分の2のブナの原生林が存在するほか、トケンラン等の絶滅危惧種に指定されている動植物が数多く生息している。この豊かな自然環境を守るため、森林保護をはじめ、共生林の多様な利用活動を推進していく。

(2) 健康長寿日本一を目指す福祉の村づくり

介護予防事業を積極的に実施し健康寿命の延伸に向けて取り組む。また、村の大部分を占める森林が持つ「癒し効果」に注目し、「森林セラピー」として健康増進やりハビリテーションに役立てる。

(3) 歴史ある宿場町の景観保全

かつては出雲街道の宿場町として栄え本陣、脇本陣をはじめとする歴史的建造物や、日露戦争の戦勝を記念して植えられたがいせん桜は村の誇りとなっている。この宿場

町は「日本の音風景100選」にも選ばれており、穏やかに流れる水の音を含め、町並みの保存を行っていく。

(4) 環境保全型農業の推進

源流の水、澄み切った空、安全な土のもとで、化学肥料や農薬を減らして、環境にやさしい農業を推進し、堆肥により地力増進を図る。

以上のように、新庄村の施策には、自然環境の保全が重要な位置を占めている。ところが、近年の生活様式の変化に伴って、家庭から未処理水が流入することで、河川の水質は年々悪化する傾向にある。

新庄村の污水处理施設の普及の現状だが、平成13年度から公共下水道整備に着手し、平成16年度からは浄化槽（市町村設置型）整備にも着手しているものの、污水处理人口普及率はいまだに20%にとどまっている。

そこで、今回、污水处理施設整備交付金を活用し、平成18年度の公共下水道供用開始に向けて管渠工事を、また公共下水道区域外は浄化槽設置を促進し、より一層の污水处理施設整備促進を図る。

また、生活環境整備と同時に、情報通信基盤の整備もおこない、当村の水、森林など自然資源を生かすニュービジネスとして2社以上の企業誘致を行う。また、平成17年に開通する野土路トンネルを起爆剤とし、自然環境、歴史的資産を生かした、がいせん桜祭りをはじめとする各種イベントの内容を充実させることで、交流人口を現状の9.5万人から15万人と増加を図る。更に地域特性を生かした高付加価値型農林業の推進による産業振興を図り、これらを総合的に推進することで、活力ある村の再生を目指していく。

(目標1) 污水处理施設の整備の促進(污水处理人口普及率を20%から60%に向上)

5. 目標を達成するために行う事業

5-1 全体の概要

生活環境整備として取り組んでいる污水处理施設の整備をより一層促進することで基本的基盤の強化を図り、企業立地促進、歴史的資産を生かした交流人口の増加を図る。同時に地域特性を生かした高付加価値型農林業の推進を図り、産業振興、人口増加による活力ある村の再生を目指す。

5-2 法第四章の特別の措置を適用して行う事業

污水处理施設整備交付金

[事業主体]

・新庄村

[施設の種類]

- ・ 公共下水道

近年の生活様式の変化に伴う生活環境、水環境の対応として、平成 11 年度から隣接する真庭市（旧美甘村）と広域的に汚水処理を行うこととして基本計画策定に着手する。平成 12 年度に実施計画に着手し、平成 13 年度に下水道法第 4 条第 1 項及び下水道法施行令第 4 条の 2 第 1 号イの規定による認可申請を行い、同年度に認可を受ける。

- ・ 浄化槽

[事業区域]

- ・ 公共下水道 新庄村新庄地区
- ・ 浄化槽 新庄村公共下水道区域以外の地区

[事業期間]

公共下水道 認定を受けた日から平成 21 年 3 月 31 日まで
浄化槽（市町村設置型） 認定を受けた日から平成 21 年 3 月 31 日まで

[事業費]

公共下水道	700,000 千円
（うち、単独	80,000 千円）
（うち、国費	310,000 千円）
浄化槽（市町村設置型）	92,300 千円
（うち、単独	8,180 千円）
（うち、国費	28,040 千円）
合計	792,300 千円
（うち、単独	88,180 千円）
（うち、国費	338,040 千円）

[整備量]

- ・ 公共下水道 150 ~ 200 mm L=4,505 m
75 ~ 100 mm L=2,210 m
- ・ 浄化槽（市町村設置型） 5 人槽 5 基
7 人槽 65 基
計 70 基

なお、各施設による新規の処理人口は下記の通り。
公共下水道区域で 432 人、浄化槽区域で 206 人

5 - 3 その他の事業

企業誘致に向けて、村の自然資源の調査を行い、水、森林を資源とする産業振興を図るため、受け入れ態勢の準備、立地に調整中である。

農林業においても、村で生産される農産物の付加価値を高め、消費者ニーズに適応した特産品づくりの加工施設整備を行う。

また、自然環境として、西日本屈指のブナ原生林のある毛無山、隠岐大山国立公園の一角にある朝鍋鷲ヶ山を会場に平成17年度岡山国体登山競技が開催される。同時に野土路トンネルが開通することからこの機会に歴史的資源の旧出雲街道宿場町を会場として毎年開催しているがいせん桜祭り、盆踊り大会、毛無山・朝鍋鷲ヶ山の山開き、紅葉祭り等のイベントを充実させ、PRの強化によって観光、交流人口の増加を図る。基礎的基盤整備と合わせて、定住人口の増加を目的に低家賃の特定公共賃貸住宅整備事業を実施する。

近年の自然、環境に対する関心の高まりに合わせ、岡山国体、トンネル開通のPRチャンスを生かして当村の自然環境、自然資源を生かした企業立地、観光・交流人口を増加を図り、当村の再生を目指す。

6．計画期間

認定を受けた日から平成21年3月31日まで

7．目標の達成状況に係る評価に関する事項

計画終了後に、4に示す数値目標に照らし状況を調査、評価し、公表する。また、必要に応じて事業の内容の見直しを図るために、村、関係地区区長等で構成する「新庄村「源流域」清流再生計画評価協議会」を設立し、施設の整備状況等について評価・検討を行う。

8．地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当なし